# ＜安全で安心できる地域づくり＞

## 重点事項：雪に強く、安心で快適な地域づくり

### 主な目標

①雪による暮らしの障害を克服するため、冬期歩行空間確保など冬期バリアフリー※対策を進めます。
②地域間の交流・連携を促進するため、豪雪や地吹雪などに対する除排雪の強化等雪対策を行います。

※冬期バリアフリー：積雪によって歩道の幅員が減少したり、凍結によって転倒しやすくなるなどといった、冬期特有の雪による障害を軽減すること。

### 目標達成のためのH18年度の具体的な施策の例

・冬期間の安全で快適な歩行空間を確保するため、消融雪施設等の整備と併せて地域と連携、協働した歩道除雪を推進します。

（具体箇所例）

青森市地区冬期バリアフリー事業
補助：特別豪雪地帯・三十万人都市 青森市における雪に強い生活空間の形成（地方道路交付金事業）

●市民団体（雪みち観察隊※）と協働し、安全で快適な歩道を確保




歩道もバス停も雪で埋まり、歩道幅員が減少（青森市）。




雪みち観察委員会からの提案を受け、消融雪範囲を変更して整備




▲女性・利用者の視点から意見を事業に反映

※雪みち観察隊：女性の視点や利用者の視点で雪道を見てもらい、ご意見を伺おうと平成14年1月に編成。子供から学生、会社員、主婦等幅広い年齢層からなる女性グループ。

・冬期間の生活環境の改善を図るため、消流雪用水導入事業によって必要な流雪水量を確保し、除排雪作業の効率を高めます。また、地下埋設下水管の熱エネルギーを利用し、既設下水道を流雪溝として活用を図ります。

（具体箇所例）

直轄：最上川清水地区消流雪用水導入事業　（別冊P. 38）
新世代下水道支援事業（リサイクル推進事業）（青森市）

●消流雪用水導入による冬の生活環境が改善（山形県真室川町の事例）

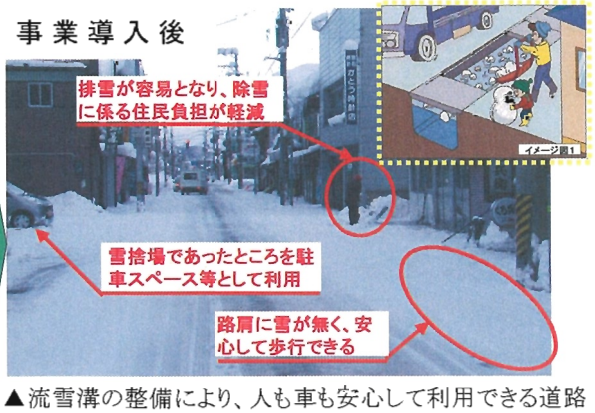
事業導入前




▲雪のため、住民が安心して利用できない道路

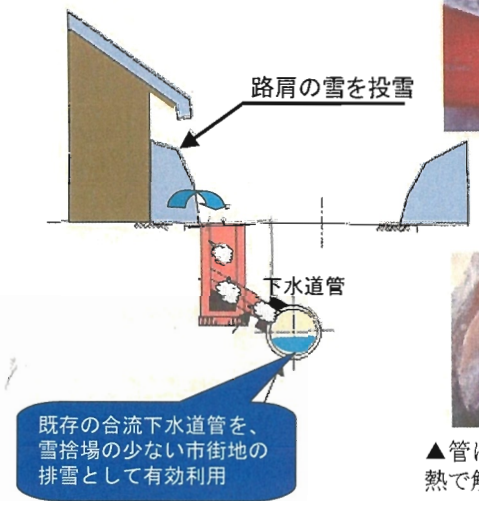
事業導入後

水量の確保により、雪を流しやすい




▲流雪溝の整備により、人も車も安心して利用できる道路

●下水道管を利用した市街地における除雪対策（青森市）




▲下水道管の熱エネルギーを利用し、除排雪に係わる住民の負担軽減を図ります

投雪状況



▲投雪口を設置し、下水管へ投雪

流下状況



▲管に入った雪は、下水の熱で解けながら流れます

事業導入前（イメージ）



▲雪が両脇に積み上げられた危険な雪道

事業導入後（イメージ）



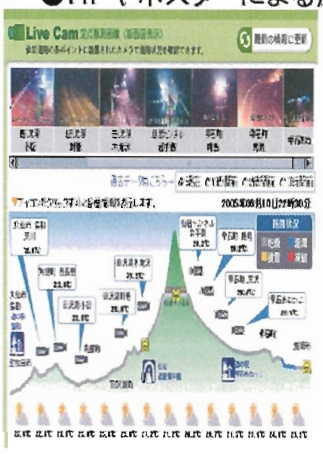
▲排雪が容易となり住民の除雪負担も軽減

・冬期事故削減対策として、広報、啓発活動などを推進します。

（具体箇所例）

冬期道路サービス向上に向けた取り組み（秋田県内）

●HPやポスターによる広報活動

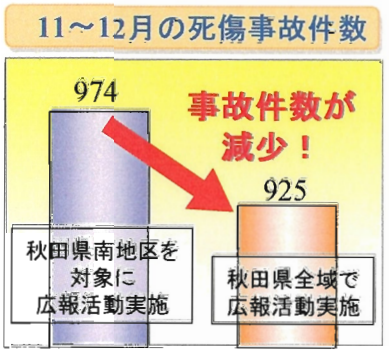



▲冬期の路面状況についてHPにより情報提供




▲初冬期における事故防止を呼びかけるポスター

●広報、啓発活動による対策効果

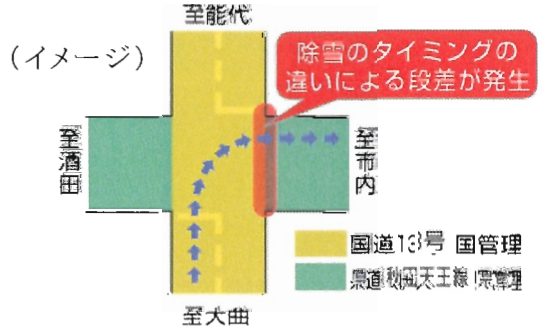



▲秋田県内全域の初冬期の事故減少

「資料：秋田県警察本部事故統計」

・冬期間の安全な交通を確保するため、国・県・市町村が連携して道路の除排雪を推進します。また、除雪車の後に続く車輌へ情報を提供し、道路利用者の通行の便に供していきます。

●国・県・市町村が連携し、交差点箇所における除雪の問題を解消




▲主要交差点の除雪を国・県・市町村が連携することで、除雪のタイミングの違いによる段差を解消

●除雪車後部の情報表示により、ドライバーのイライラ感を解消




▲除雪車後方表示装置

▲除雪車に続く車輌に対し、次に待避するまでの距離等を示すことで、心理的にドライバーのイライラの緩和を図り、無理な追い越しを防止